

大腸がんについて(前編)

日本消化器内視鏡学会専門医の宮池次郎先生に
「大腸がん」について伺いました。



▲副院長 宮池次郎医師

大腸がんについて2
回にわけてお話ししま
す。1回目は疫学につい
てです。

大腸がんは日本では
近年増加しており、罹患
数で第1位、死亡数は
肺がんに次いで第2位
となっております。逆に米
国では罹患数、死亡数は
減少しており、2017

年には死亡数で日本が
米国を超えてしまいま
した。もともと食の欧米
化や肥満が大腸がんの
リスクと考えられてい
るのに、しかもそれらの
リスクは日本人のほう
が低いと考えられるの
に、人口が米国の半分以
下の日本で死亡数が多
いのは不思議と思いま
せんか。

その理由のひとつは両
国の検診受診率の差に
あるといわれています。
米国では、50歳を過ぎた
国民は大腸内視鏡検査
を無償で1回受けるこ
とができます。便潜血検
査とあわせて、大腸がん

検診受診率は約70%で
す。内視鏡検査をするこ
とで、大腸がんの早期発
見や、がんになるリスク
のある良性のポリープ
を切除することで、がん
の罹患率、死亡率ともに
下げることができるので
です。

日本では便潜血検診
受診率は40%程度と低
い状況です。ぜひ検診を
受けてください。検診で



▲大腸の早期がん

便潜血陽性になった場
合や気になる症状があ
れば、大腸内視鏡検査を
受けてください。次回の
テーマは内視鏡検査と
治療についてです。

社会福祉法人



恩賜財
団

済生会今治病院

今治市喜田村7丁目1-6

<https://www.imabari.saiseikai.or.jp>

☎0898-47-2500

